

久留米工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	日本事情
科目基礎情報						
科目番号	0161		科目区分	一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	生物応用化学科		対象学年	3		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	適宜必要な資料およびプリントを配布する。					
担当教員	江島 孝則					
到達目標						
①自身の日本語の習得度を確認し、日本語でのコミュニケーション能力を向上させる。 ②日本の歴史について、簡単な概要を把握・理解する。 ③日本の社会・文化・考えについて学習し、日本人の精神性に触れる。 ④現在の日本の社会がどのような問題を抱えているのかを理解し、そのことへの関心を高める。						
ルーブリック						
		理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1						
評価項目2						
評価項目3						
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	近年、さまざまなメディアのグローバル化などに伴って国際的な文化交流が盛んである一方、日本の文化の精緻さやその精神性が広く認知・着目されるようになってきている。本授業では、留学生を対象として、その日本の文化やそれを構築してきた日本の社会・民俗・歴史などについて学習し、日本に対する理解を深めてもらうことを目的とする。また、日本語の用法や知識に関して、主に語学の授業では扱わない内容などについても学習し、日本での生活の一助となる内容を目指す。					
授業の進め方・方法	配布資料に基づいて、留学生による日本語での読み上げ・各事項の説明・空欄への書き込みなどが授業の主体となる。その際、一方的な口頭による講義には終始せず、学生の「日本の何が知りたいのか」を重視して授業を進める。そのため、平易な日本語で構わないので、積極的な発言を奨励する。さらに、授業内容の大筋は守りながらもそれにとらわれず、多方面において「日本とはどのような国なのか」「自分の国と比べて何が違うのか」を議論することを心がける。場合に応じて視聴資料を活用する。					
注意点						
授業計画						
		週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	ガイダンス			
		2週	日本語のなりたちと構造			
		3週	日本語の用法①			
		4週	日本語の用法②			
		5週	日本語の用法③			
		6週	日本の都道府県			
		7週	日本の国土と気候			
		8週	日本の人口と面積			
	2ndQ	9週	日本の農業			
		10週	日本の工業			
		11週	日本の貿易・交通			
		12週	日本の水産業			
		13週	日本の国際関係			
		14週	日本人の名前			
		15週	日本の歴史：旧石器時代～古墳時代			
		16週				
後期	3rdQ	1週	日本の歴史：飛鳥時代・奈良時代			
		2週	日本の歴史：平安時代			
		3週	日本の歴史：鎌倉時代			
		4週	日本の歴史：室町時代			
		5週	日本の歴史：安土・桃山時代			
		6週	日本の歴史：江戸時代①			
		7週	日本の歴史：江戸時代②			
		8週	日本の歴史：江戸時代③			
	4thQ	9週	日本の歴史：明治時代①			
		10週	日本の歴史：明治時代②			
		11週	日本の歴史：大正時代			
		12週	日本の歴史：昭和時代①			
		13週	日本の歴史：昭和時代②			
		14週	日本の現在			
		15週	発表			
		16週				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標						

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標				到達レベル	授業週
評価割合								
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計	
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100	
基礎的能力	100	0	0	0	0	0	100	
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0	
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0	